

2024年3月21日

各位

株式会社北洋銀行

KOKAJIグループ様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、株式会社小鍛冶組様を中核法人とするKOKAJIグループ様(北海道札幌市、代表取締役社長 小鍛冶 洋介様)が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

中核法人名	株式会社小鍛冶組
所在地	北海道札幌市東区中沼町13番地
代表者	代表取締役社長 小鍛冶 洋介
業種	建設業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

【企業理念】

顧客の信頼に応え続け、
従業員皆が安心して働ける企業を目指すと共に、
事業活動を通じて、地域社会の発展に貢献すること

【スローガン】

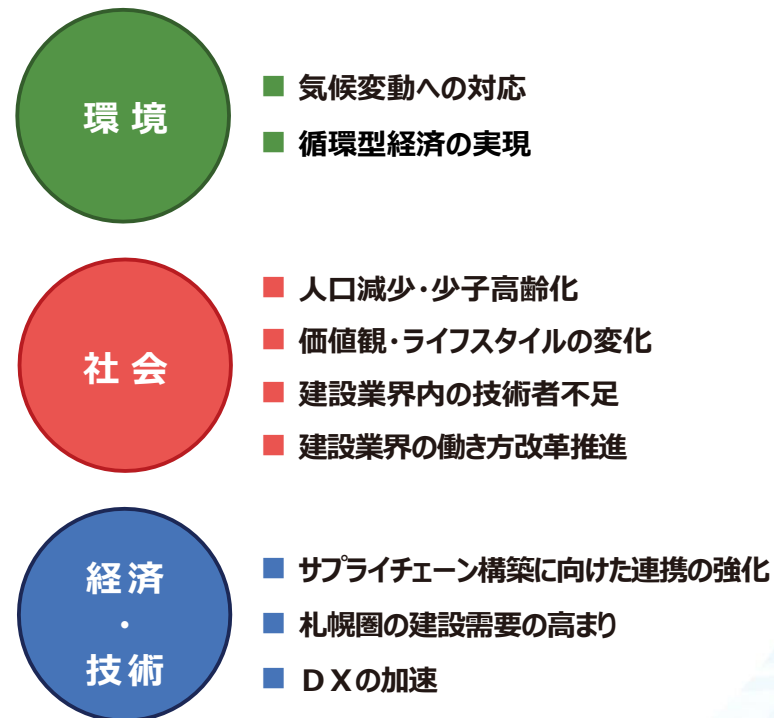
基礎・躯体工事のサブコン(Sub-Constructor)から、
プロコン(Professional Constructor)へ

KOKAJIグループ・株式会社小鍛冶組

サステナビリティ経営方針

KOKAJIグループは、中核である小鍛冶組の「企業理念」に基づく企業活動を通じて、当グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

事業に影響を与える環境変化



重要課題(マテリアリティ)

取組内容

主なステークホルダー

1

施工体制の強靱化

- ① 安全管理・施工管理・原価管理の標準化の推進
- ② サプライチェーン構築に向けた積極投資
- ③ 業務プロセスの再構築

取引先
協力会社

2

働きがいのある職場づくり

- ① 「KOKAJIアカデミー」の実践による人材育成
- ② 従業員満足度の向上

従業員

3

事業を通じた環境負荷低減

- ① 温室効果ガス排出量の算定
- ② 廃棄物の適正な処理
- ③ 営業車輛の環境配慮型車両へのシフト

取引先
地域社会

4

持続可能な経営体制づくり

- ① コンプライアンス体制の構築
- ② サステナビリティ経営の実践

取引先
協力会社
従業員

サステナビリティ経営への取り組み



KOKAJIグループ・株式会社 小鍛冶組

当グループは国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当グループが将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

環境

北海道の豊かな自然を享受できるようにするため、環境負荷低減につながる活動を実践してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・エネルギー効率を考慮した化石燃料の削減
- ・デジタル技術を活用したペーパーレスの推進
- ・社員に対する環境教育の実施
- ・環境負荷低減を考慮した設備投資



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
● 事業を通じた環境負荷低減	温室効果ガス排出量の算定	・環境負荷低減のため、2024年度までにCO ₂ 排出量を可視化する
	廃棄物の適正な処理	・残土や残コンクリート等、廃棄物の適正処理を継続する
	営業車輛の環境配慮型車輛へのシフト	・2024年度までにHV・EVなど環境に配慮した営業車輛を10台導入する



社会・地域

従業員一人ひとりのキャリアアップを支援すると共に、福利厚生の充実や働き方改革について取り組み、働きがいのある企業を目指してまいります。
また、地域に根ざす企業の責務として、地域社会の人々の暮らしをより豊かにすることができるよう、これからも夢のある社会づくりに、目に見える形で分かりやすく貢献できる活動を取り組みしてまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・人事評価制度の構築
- ・外国人実習生への労働環境整備
- ・定期健康診断の実施
- ・スポーツ振興による地域貢献活動
- ・安全衛生協議会の実施による労働安全の徹底
- ・地元人材の積極採用
- ・キャリアアップ補助制度や各種褒章制度の充実
- ・メンタルヘルスサポート体制の整備



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
● 働きがいのある職場づくり	「KOKAJIアカデミー」の実践による人財育成	・2024年度までに全従業員が閲覧できる研修動画コンテンツを導入し、KOKAJIアカデミーによる人財育成を推進する
	従業員満足度の向上	・2024年度までに従業員に対するエンゲージメント調査を実施する

経済・ガバナンス

各事業において、「安全」と「品質」を確保したサービス提供を継続できる組織づくりをすることにより、今後も皆様からの「信頼」に応えていく企業を目指してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・施工体制の強靱化による品質向上
- ・個人情報保護の徹底
- ・コンプライアンス体制の構築と情報開示



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
● 施工体制の強靱化	安全管理・施工管理 原価管理の標準化の推進	・2024年度までに売上高を38億円にする
	サプライチェーン構築に向けた積極投資	・2024年度までに重機・車輛の積極投資を実施する
	業務プロセスの再構築	・社内DXを推進し、業務効率化と生産性向上を目指す
● 持続可能な経営体制づくり	コンプライアンス体制の構築	・全社的なコンプライアンス研修を年1回実施する
	サステナビリティ経営の実践	・全従業員向けにSDGs関連の勉強会を実施する

